

SSH三宅島研修

1. 活動時期 2025年7月28日～7月31日

高校2年 岡部 美月

2. 活動の概要

三宅島は、東京から南南西へ約180kmの位置にある活火山の島です。最近の2000年の噴火のほか過去に20年周期で噴火を繰り返しており、島内では噴火の痕跡や裸地からの植生の遷移などを観察することができます。

この三宅島研修は東京と三宅島・八丈島などを結ぶ船「橘丸」の船内で一泊するところから始まります。船を降り2日目は貸切バスで先生の説明を受けながら島を一周し、噴火の歴史や岩石、植物、鳥などを観察します。また夜には満点の星空も見ることができます。3日目は再び島をまわって各自が準備してきた調査テーマの調査を同時に行い、最終日である4日目にその成果を発表します。

3. 感想

友達に誘われて参加を決めた研修でしたが、終えてみると興味の幅が広がったと感じます。普段はスルーしてしまうような鳥や蝉の鳴き声に注意深く耳を傾けたり、普段あまり身近でない火山や火山噴火の痕跡について知ったり考えたりすることができて面白かったです。目や耳で感じるものが増えたと思います。また通常なら長い年月をかけてしか見ることのできないはずの植生の変化の様子が、火山噴火の歴史とともに島内を巡るだけで一通り観察できることが特に興味深かったです。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

自然や地学、生物が好き・興味があるという人におすすめです。教科書などに載っているものを現地で実際に見たり触れたりする経験は貴重なものになると思います。参加するだけでも十分楽しく学びになりますが、遷移や火山について少し知識を持った状態で参加すると、気づきも多くより楽しめると思います。



伊豆岬



泥流で埋もれた鳥居(椎取神社)



溶岩樹型